

てくてくワークショップ “西行と善通寺”

武門の家に生まれながらも若くして出家し、高野山を本拠としつつ奥州や中国・四国など各地を旅した平安時代末期の歌人・西行(1118-90)。四国へ修行の旅に出た際は、讃岐国の崇徳院の白峯陵をもうでて院の怨霊を鎮め、さらに弘法大師の跡をしたって善通寺を訪ねていたようです。讃岐での足跡や当時の善通寺の様子などを探りながら、「漂泊の歌人」西行の実像や伝説化された一面などを紹介します。

講師について



香川県立ミュージアム
専門学芸員

上野 進
Susumu Ueno

三重県生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士課程史学専攻(単位取得退学)。専門は日本中世史。1998年、香川県教育委員会歴史博物館建設準備室に配属、以来歴史博物館(現:香川県立ミュージアム)で学芸員として勤務し、「源平合戦とその時代」・「海に開かれた都市(まち)」などの特別展を担当。2008年から2017年まで香川県政策部文化振興課へ転出、「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向けて札所寺院の文化財調査を担当。

善通寺てくてく文化遺産プロジェクトとは

真言宗の開祖・弘法大師空海御誕生の地である香川県善通寺市は、市名の由来となった総本山善通寺をはじめ、四国八十八箇所霊場第72番から76番までの五つの札所寺院を擁する巡礼の都です。五岳山の連なる肥沃な地に、清らかな湧水を湛えるここ善通寺市は、かつての門前町としての風情を今に伝え、また古くは有岡古墳群などの遺跡を、そして近代では旧陸軍第11師団の建造物や善通寺駅舎等の産業遺産を残します。街をてくてく歩く、それだけで私たちは多彩な価値・時代性を持ったいくつもの文化遺産と出会う事ができます。歴史の歩みから学び、その歩みを止める事なく前進し、文化遺産を次の世代へ伝承していくこと。てくてく文化遺産はこれからの歩みを「てくてく」明るく踏み出すためのプロジェクトです。

会場について

総本山善通寺 遍照閣 2F

〒765-8506 香川県善通寺市善通寺町3-3-1
Tel: 0877-62-0111(代) Fax: 0877-62-4302
<https://www.zentsuji.com>

公共交通機関でお越しの方○岡山方面より_JR 岡山駅から瀬戸大橋線を経由しJR 善通寺駅までお越しください(約60分)○高松方面より_JR 高松駅から予讃線・土讃線でJR 善通寺駅までお越しください(約60分)○JR 善通寺駅より徒歩約20分/タクシー約3分/市民バス(無料)を利用して約8分
※バス停「郷土館前」下車し徒歩3分

お車でお越しの方○岡山方面より_瀬戸中央自動車道 坂出インターより約20分 ○徳島・愛媛方面より_四国横断自動車道 善通寺インターより約10分
※駐車場は総本山善通寺の境内の西側に入りがあります

飛行機でお越しの方○高松空港より車で約50分※高松からJR 利用の場合は高松空港~JR 高松駅間はバス・タクシー利用で30~40分かかります



今回のワークショップについて

日程

2019年9月14日(土)

14:00~15:30

テーマ

**善通寺周辺の
古代文化について**

講師

笹川 龍一

善通寺市教育委員会 学芸員